

令和8年度 同窓会総会 報告

令和8年8月2日(日)、エポカ21において、同窓会総会が開催されました。100名近い参加者を得て、すべての議事について、ご承認をいただくことができました。

総会に続いて、昭和30年3月卒業 曹洞宗通大寺住職、金田諦應（かねたたいおう）様より、ご講演をいただきました。金田さんは東日本大震災の被災地で、傾聴移動喫茶「カフェ・デ・モンク」を開き、被災者の心のケアに取り組んでいます。その功績により令和8年1月に正力松太郎賞 第75回河北文化賞を受賞されました。

ご講演では、「カフェ・デ・モンク」の活動を被災者の語りを受け止める傾聴の場づくりと表現し、小さな力で、心地よい距離感を保ち、適当な熱量で接することについて説明いただきました。今後は、顔の見える関係作り、専門職から生活者へ、地域の風土精神文化に根差した支え合い、共生・共死（共に生き、死を共有する）、協働倫理の共有、震災の経験を忘れない・次の世代に伝える という「コンパッションコミュニティ栗原」を目指し、活動に取り組んでいきたいとまとめられました。（著書、テレビ出演もあります。詳しくはネット等で検索してください）

ご講演の後、懇親会が開催され、同窓の皆さんが旧交を暖め、盛会裡にすべての予定を終了することができました。

◆総会資料、会報「栗峰 No21」の郵送をご希望の方は、送付先の住所とお名前を下記アドレスにお知らせください。

tukiko-dosokai@od.myswan.ed.jp



会長挨拶 「渡邊一正 同窓会長」



講演 「金田諦應 様」